

News Letter

vol.01
2017. 4・5
毎月発行

Dream comes true—

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座
教授 吉村 学

夢は叶う。わずかではありますが、掲げた「夢」が叶いつつあります。「地域医療実習先を増やして宮崎県内全域を地域医療の学びの場にしたい」ということで、着任以来推し進めてきたことが今年度本格的に花開いて各地で嬉しい便りが届いています。関係者の皆様のご協力の賜物です。ありがとうございます。

また2年前にオレゴンのRyan先生とSkype会議で始まった学生サークルFamily Medicine Interest Group (FMIG:エフミグ) 宮崎の構想は、昨年実現して現在50名を超える体制になり、今年の日本プライマリ・ケア連合学会では学生企画を開催するまでになりました。

総合診療医(家庭医)養成研修プログラムも今年新人が1名参加、1名が移籍、合計2名が新たに加わりました。確実に「夢」が実現しつつあります。



教育の体制や内容により一層力を入れて充実したプログラムにすべく鋭意努力中です。

講座のミッションを実現するためには、一人一人の力を引き出して、関係者の皆様のお力を結集して行く必要があります。熱意を持ちながら、お互いのコミュニケーションを密にしながら進んでいきます。講座メンバー、地域医療機関の皆様、関係者、学生・研修医の方々へ情報を届けて行くためにもこのNews Letterを活用しながら発信していきたいと考えています。宜しくお願い申し上げます。

総合診療医とは

主に地域を支える診療所や病院において、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他の職種などと連携し、地域の医療、介護、保健など様々な分野でリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供する医師のことを言います。

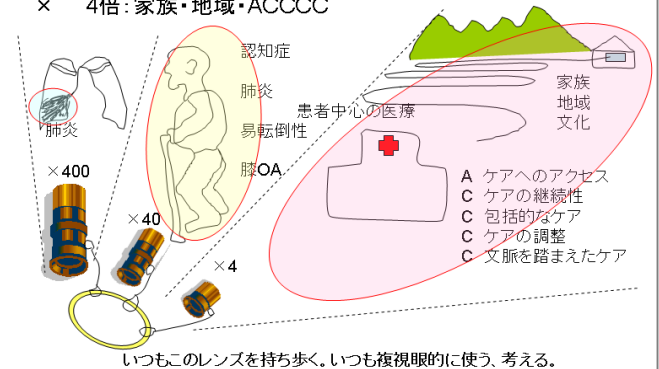
当講座では病気だけでなく、その人自身、そしてその人の背景にある家族や地域全体を診ることができるように、倍率の違うレンズを同時に持って使える医師になることを意識しています。

来年度からの新専門医制度で、「総合診療医」の専門医教育が始まりますが、まだ一般には知られていないところもあり、皆さんに知ってもらえるような情報

をニューズレターを通して紹介していければと思います。

倍率の違うレンズを同時に持つ、手に入れる

- × 400倍: 病気の原因等、
- × 40倍: 体全体のこと、高齢者総合評価等
- × 4倍: 家族・地域・ACCCC



地域医療実習について

当講座では2014年度から医学科5年生の地域医療実習を行っています。①医学生は医療チームの一員として活動すること、②指導医の責任の下、入院患者さんを一人受け持ってもらうこと、③なるべく学生一人ずつで実習を行うこと、④ポートフォリオ（毎日の振り返り）を記載し、最終日に学生全員で振り返りを行うこと、の4つを原則として充実した実習になるよう心掛けてきました。

初年度は県南部での3日間の実習でしたが、徐々に日数や受け入れ先が増えていきました。今年度の実習期間は昨年度と同じ2週間ですが、実習先は宮崎県内全域へと広がります。Head（頭）・Hand（手）・Hara（腹）・Heart（ハート）・Hitori（一人担当）・Hureai（ふれあい）・Hurikaeri（振り返り）の7Hを新たな合言葉に、オール宮崎で県内各地の実習受け入れ先と協力して行っていきます。当紙面上でも、今後実習の様子などお知らせしていければと思います。



講座定例イベントの紹介

●レジデントデイ（月1回開催）

当講座では、「宮崎大学地域医療・総合診療医学講座 総合診療専門医プログラム」として、総合診療医（家庭医）を養成する3年間の後期研修プログラムを行っています。

専攻医・指導医は各研修サイトに分かれています。毎月1回（主に第4金曜日）みんなで集まって勉強会を開いています。指導医からのコアレクチャー（30分程度）、各研修医からのポートフォリオ検討会（1人30分程度）、その後に振り返りを含めた懇親会を行います。2015年度から始まったプログラ



ム、今年で3年目になります。1～3年目まで専攻医がそろい屋根瓦式になってきて、レジデントデイもより良い感じになってきました。最近

はSkypeも利用して、遠隔地からもレジデントデイに参加できるようにしています。

研修医活動

このコーナーでは毎月、総合診療専門医プログラム（以下、当PG）研修医（専攻医）の日々の活動から、専攻医の研修が良くわかるようなエピソードや広めたい知見について紹介していきます。

トップバッターは4月よりチーフレジデントを拝命しました私、三浦拓（串間市民病院）が務めます。当PG3年目です。

私は都城市の出身で、九州大学卒業後、千葉県松戸市の千葉西総合病院で初期研修、東京都中央区の聖路加国際病院で小児科後期研修1年間の後、(株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンで病院経営コンサルティングをしながら医療政策について研究、分析提案を3年間やってきました。宮崎県に戻るにあたり、地域貢献を第一に、当PGへの参加を決めました。

串間市民病院は研修開始6ヶ月間勤務し、1年半ぶりです。臨床的にも総合力が必要とされ、陸の孤島として地域への意識が自然と高まります。

総合診療科は4月から3人体制となり、朝カンファや定期勉強会など盛り上がっています。これからも様々な媒体で発信をしていきます。どうぞよろしくお願い致します。



講座のイベント情報

- 医局説明会
6/16(金) 18:30～ 場所：当講座
6/23(金) 18:00～ 場所：日南市・油津 yotten
- 第4回九州山口家庭医療・総合診療医学セミナー
6/24(土)～6/25(日) 場所：延岡市役所ほか
- 第6回九州総合内科セミナー
7/8(土)～7/9(日) 場所：宮崎大学医学部
- 地域医療実習説明会
7/21(金) 18:00～ 場所：ホテルニューウェルシティ宮崎

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

